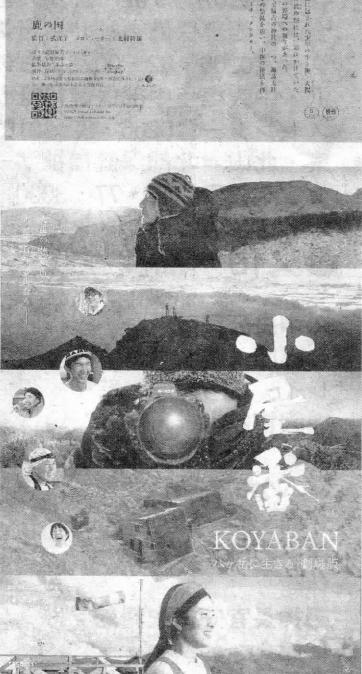


「鹿の国」トーク付き上映会 10~12日

「小屋番」舞台あいさつ 12日

スカラ座 ドキュメンタリー映画2作品



「鹿の国」は、農耕と狩猟が密接に関わる諏訪大社の四季の祭礼に着目。諏訪信仰研究者の北村皆雄さん〔伊那市出身〕が代表を務める映像会社が大社の協力を得て制作した。監督は、ペールやチベットで生と死の文化を追ってきた弘理子さん。日本最古の神社の一つ諏訪大社で長らく畏怖と謎に包まれてきた中世の祭礼「御室神事」の再現を記録している。

トーク付きの上映会は3日間

岡谷市中央町の映画館・岡谷スカラ座で10~12日に諏訪大社の祭礼を追ったドキュメンタリー映画「鹿の国」の公開1周年記念トーク付きの上映会、12日に八ヶ岳を舞台にしたドキュメンタリー映画「小屋番 KOYABAN」八ヶ岳に生きる」の監督、出演者による舞台あいさつが行われる。(浜武司)

日本百名山に選定された名峰を持ち、「コヤガタケ」と呼ばれるほどたくさんの山小屋が存在する八ヶ岳を山岳写真家・菊池哲男さんとともに巡り、小屋を営むもの小屋番の姿に迫った。

とも午後0時5分~1時50分で、トークイベントは上映後に開催。10日は映画にも出演している大昔調査会代表の高見俊樹さんと弘監督、11日はスマッシュム事務局長の石塙三千穂さんと弘監督、12日は映画に大祝役で出演する大和央宙さんと石塙さん、弘監督が登壇し、撮影秘話などを話す予定。

一方、「小屋番」は、昨年のTBSドキュメンタリー映画祭で上映され、6都市各地で大きな注目を集めた番組の映画版。73)へ。